

組 番 名前

◎ 江戸時代の文化にかかわる代表的な人々について、問いに答えなさい。

(1) 19世紀はじめ、西洋の天文学や測量術を学び、日本全国を測量して精度のとても高い地図をつくった、千葉県出身の人物の名前を答えなさい。

(2) 次の①～③の人物にあてはまる説明をa～cから選んで、記号で答えなさい。

① 近松門左衛門

a 人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書いた脚本家

② 井原西鶴

b 多彩な色調の風景画に、優れた作品を残した浮世絵師

③ 歌川広重

c 武士や町人の生活を基に、浮世草子と呼ばれる小説を著した作家

解答欄

(1)		(2)	①	②	③

歴史2 第1章 近世の日本 (3) 産業の発達と幕府政治の動き <基本問題②>

組 番 名前

◎ 江戸時代の文化や人々の生活について、問いに答えなさい。

(1) 江戸時代の三大都市の名前を答えなさい。

(2) 都市や城下町の芝居小屋で行われた歌舞伎や、印刷された版画の浮世絵を楽しんだ人々は、主にどのような身分の人々か、答えなさい。

解答欄

(1)			(2)	
-----	--	--	-----	--

組 番 名前 _____

◎ 次の①と②の事柄と、それぞれに関係の深い人物を解答欄に記号で答えなさい。また、その人と関係の深い書物の名前を答えなさい。

① 国学	a : 杉田玄白
② 蘭学	b : 本居宣長

解答欄

	関係の深い人物	書物名
①		
②		

◎ 次の文の①～⑥にあてはまる言葉を答えなさい。

ヨーロッパの学問や文化が日本に伝わり、それらを（ ① ）語で学ぶ（ ② ）が、次第に多くの人々に広まった。また、もともとの日本の姿や文化、人々の考え方などを研究する（ ③ ）も広まった。

一方、天候不順や自然災害のために人々が飢えで苦しむ（ ④ ）が何度も起きた。人々の不安や不満、生活改善の要求などが、農村では（ ⑤ ）、都市や町では（ ⑥ ）という形で、全国各地で数多く起きた。

社会不安が続き、幕府への不満が高まっていった。（ ② ）や（ ③ ）を学ぶ人たちからも、幕府や藩を批判する人々が出てきた。

解答欄

①	②	③
④	⑤	⑥

◎ 産業や交通の発達に関して、問いに答えなさい。

(1) 次の文を読んで、問いに答えなさい。

江戸時代には諸産業が発達した。農業では、各地で新田が開発され、農業技術が改良されて、高く売れる作物の栽培や加工も進んだ。水産業では、漁法や道具の改良が進み、漁獲量も増加した。全国各地で、それぞれの地域の特色を生かした産業が発達し、特産物となった。

この時期に各地で盛んに栽培されるようになった「売ることを目的にした作物」のことを「何作物」というか、漢字2字で答えなさい。また、具体的な作物の名前を、一つ答えなさい。

(2) 次の文を読んで、問いに答えなさい。

江戸幕府は金・銀・銅などの鉱山の開発に力を注いだ。その結果貨幣が流通し、全国に通用するようになった。

幕府が開発を進めた鉱山に関して、次の①～③の鉱山の場所を、右の地図のa～eの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 佐渡金山
- ② 石見銀山
- ③ 足尾銅山



地理院地図
地理院地図（電子国土Web）を加工して作成

解答欄

(1)		作物	作物の名前：
-----	--	----	--------

(2)	①	②	③

(1) 江戸時代の貨幣に関して、次の文の①～③にあてはまる言葉を答えなさい。

鉱山から産出された金・銀・銅をもとに、貨幣がつくられた。貨幣をつくった場所の地名が現在まで残っており、東京駅近くの(①)は有名である。

いろいろな種類の貨幣があるが、「1両」を表す(②)などの金貨や銀貨、銅貨がつくられた。国産の貨幣による物の売買が全国的に広がり、一般的になっていった。

江戸時代には、年貢である(③)も、貨幣と同じような扱いだった。

(2) 江戸時代の都市や町について次の文を読んで、問いに答えなさい。

江戸・京都・大阪の三大都市をまとめて「三都」という。そのうち、江戸は「(①)の(②)」と呼ばれ、大阪は「(③)の(④)」と呼ばれて栄えた。また、城のまわりの(⑤)町、寺や神社のまわりの(⑥)町、街道沿いの(⑦)町など、特性を生かした町が各地で栄えた。

A 都市や町について、上の文の①～⑦にあてはまる言葉を答えなさい。

B 上の文中の⑤～⑦の町について、それぞれ千葉県内であてはまる市の名前を、次の中から一つずつ選んで、答えなさい。

松戸 香取 佐倉 南房総

解答欄

(1)	①	②	③

(2)	A	①	②	③	④
		⑤	⑥	⑦	
	B	⑤	⑥	⑦	

組 番 名前

(1) 江戸時代に発達した航路や定期船について、①～③の航路の名前にあてはまる説明を a～c から選んで、記号で答えなさい。

① 東廻り航路

② 西廻り航路

③ 樽廻船・菱垣廻船

a 東北地方から日本海沿岸・瀬戸内海を経て大阪までを結ぶ航路

b 東北地方から太平洋沿岸を通り江戸までを結ぶ航路

c 江戸と大阪を結ぶ定期船

(2) 江戸時代には、都市では大商人の力が大きくなった。大名に対しても影響力をもつようになった「株仲間」や「両替商」について、それぞれ説明しなさい。

解答欄

(1)	①	②	③

(2)	株仲間	
	両替商	

組 番 名前

◎ 江戸時代の学問や教育の普及について、次の文をもとに、(1)～(3)の問いに答えなさい。

人々の学問や教育への関心が高まり、幕府や藩による教育機関ばかりでなく、各地に多くの私塾や寺子屋が開かれた。

- (1) 武士の学問として、もともと中国の思想・信仰だった儒学がすすめられた。特に儒学のなかでも江戸幕府によって奨励された学派の名前を答えなさい。
- (2) 各藩による教育機関のことを何というか、答えなさい。
- (3) 町人や農民の子どもが多く学んでいた寺子屋では、主に、実用的な知識や技能が教えられていた。寺子屋で教えられていた主な学習内容を三つ答えなさい。

解答欄

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

(3)			
-----	--	--	--

組 番 名前

◎ 江戸時代の文化に関して、次の文をもとに、問いに答えなさい。

江戸時代には町人や庶民をにない手とする文化が栄えた。特に、栄えた時期が、二つある。一つめは17世紀末から18世紀初め、二つめは19世紀の前半である。

一つめの文化に関して、次の問いに答えなさい。

(1) この文化の時期に活躍した①～⑦の人々の名前にあてはまる説明をa～fから選んで、記号で答えなさい。

① 菱川師宣

② 松尾芭蕉

③ 市川団十郎

④ 俵屋宗達

⑤ 近松門左衛門

⑥ 井原西鶴

⑦ 坂田藤十郎

a 俳人

b 浮世草子の作者

c 歌舞伎の役者

d 装飾画の絵師

e 人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本家

f 浮世絵師

(2) (1) の中の人物のうち、現在の千葉県鋸南町の出身者である人物を記号で答えなさい。

(3) この文化の名前を答えなさい。

(4) この文化は、主に京都や大阪などを中心に栄えました。この地域のことをまとめて何というか、答えなさい。

解答欄

(1)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
(2)	(3)				(4)		
	文化						

◎ 江戸時代の文化に関して、次の文をもとに、問いに答えなさい。

江戸時代には町人や庶民をにない手とする文化が栄えた。特に栄えた時期が、二つある。一つめは17世紀末から18世紀初め、二つめは19世紀の前半である。

二つめの文化に関して、次の問いに答えなさい。

(1) この文化の時期に活躍した次の①～⑧の人々について、それぞれa～cの中からあてはまるものを、記号で答えなさい。

- ① 東洲斎写楽 ② 曲亭(滝沢)馬琴 ③ 与謝蕪村 ④ 葛飾北斎
 ⑤ 喜多川歌麿 ⑥ 十返舎一九 ⑦ 小林一茶 ⑧ 歌川広重

- a 俳人 b 小説の作者 c 浮世絵師

(2) (1)の中の人物のうち、現在の千葉県南部地域を話の舞台の中心にした小説を書いた人物を記号で答えなさい。

(3) この文化の名前を答えなさい。

(4) この文化の中心地はどこか、答えなさい。

解答欄

(1)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
(2)	(3)				(4)			
	文化							

歴史2 第1章 近世の日本 (3) 産業の発達と幕府政治の動き <応用問題⑦>

組 番 名前

◎ 江戸時代の文化の特色を，安土桃山時代までの文化と比較して，「文化の担い手」「支配階級」「庶民」という言葉を用いて100字以内で書きなさい。

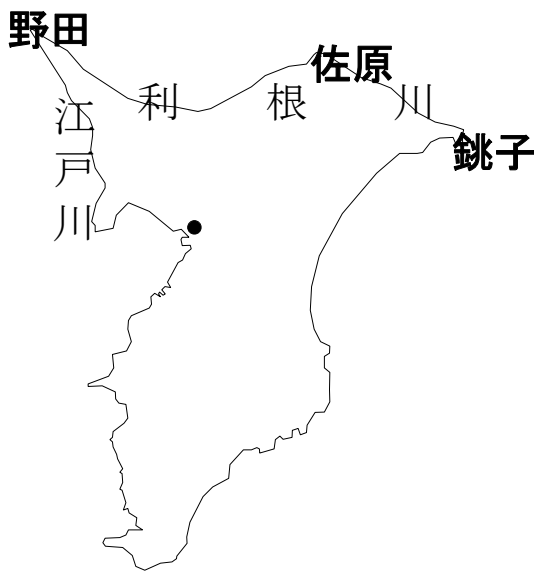
解答欄

																		30
																		60
																		90

◎ 幕府はそれまで東京湾に流れていた利根川の流れを変える大規模工事を行った。利根川を、その東側を流れていたいくつかの川と結び、太平洋に流れるようにするとともに、関宿という地点で、利根川から分かれ江戸湾につながる江戸川を整備した。

このことが、銚子や佐原、野田などの町の発展につながった。その理由を、120字以内で書きなさい。

解答欄



組 番 名前

◎ 幕府の政治改革に関して、次のA～Dの文をもとに、問いに答えなさい。

<p>【A】初代将軍家康の政治を理想として、様々な改革を行った。武士に武芸や儉約を奨励し、有能な人材を用いたり、庶民の意見を直接聞いたり、公正な裁判のための法令集をつくったりした。新田開発を積極的に行ったり、年貢の徴収の仕方を変えたり、大名から米を集めたりして、幕府の財政を豊かにした。洋書の輸入制限をゆるめた。</p>
<p>【B】8代将軍吉宗の政治を理想として、様々な改革を行った。武芸や学問、儉約を奨励し、町の費用の節約や農村の復興に取り組んだ。力の強くなった商人をおさえて、生活が苦しい武士の救済を図った。出版や風俗などを取り締まり、政治批判を禁じた。</p>
<p>【C】儉約を奨励し、ぜいたく品や出版や風俗などを厳しく取りしまった。力の強くなった商人をおさえて、農村の復興や水路の開発に取り組み、江戸・大阪近辺の幕府の領地の拡大を図った。</p>
<p>【D】商人を保護し、その財力を利用して、税収を増やしたり大規模な干拓工事を行ったりした。蝦夷地の開発を計画し、鎖国政策をゆるめ、貿易やヨーロッパの学問を奨励した。実力ある者を家柄に関係なく登用し、政治を活性化した。</p>

(1) A～Dの政治改革が行われた時期を、下の表のa～dから、それぞれ選び、記号で答えなさい。

年	1600	1650	1700	1750	1800	1850	
将軍(代)	①②	③ ④	⑤ ⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪	⑫ ⑬⑭⑮	
改革時期				↑ a	↑ b	↑ c	↑ d

(2) A～Dの政治改革の中心になった人物名を答えなさい。
また、A～Cの改革の名前を答えなさい。

解答欄

(1)	A	B	C	D
(2)	A	人物名	の改革	
	B	人物名	の改革	
	C	人物名	の改革	
	D	人物名		

◎ 江戸時代の社会の変動や欧米諸国との関係に関して、問いに答えなさい。

(1) 次の文をもとに、問いに答えなさい。

凶作や自然災害などによる飢饉（ききん）で飢え苦しんだり、物価が上昇して生活が苦しくなったりして、人々は不安や不満、生活改善の要求などを、集団で訴えるようになった。

- ア 江戸時代を通じて飢饉は何度も起きたが、その中で大噴火が大きな原因となった飢饉の名前と火山名を答えなさい。
- イ 「人々の集団での訴え」の時に、参加者や参加した村の名前を円形に並べて書くことがよくあった。この書状のことを何というか、答えなさい。
- ウ 1837年（天保8年）、大阪で兵を挙げ、大商人から米や金をうばって貧しい人に分けようとした人物名を答えなさい。また、その事件は幕府に大きな衝撃を与えたが、その理由を簡潔に書きなさい。

(2) 18世紀末頃から、諸外国が日本の近海に来航するようになった。このことに関して、問いに答えなさい。

- ア ロシアの使節が根室（現在の北海道根室市）に来航し、日本に通商を求めてきたが、その要求を幕府は断った。その後、幕府は蝦夷地や樺太の調査を重ね、直轄地にした。その中で、樺太が島であることを確認し、大陸との間の海峡に名前を残した人物の名前を答えなさい。
- イ ロシアだけでなく、イギリスやアメリカの船が近海に何度も現れた。これに対して、1825年に幕府が出した法律の名前を答えなさい。

解答欄

(1)	ア	飢饉名	の飢饉
		火山名	
	イ	書状名	
	ウ	人物名	
		理由	
(2)	ア	人物名	
	イ	法律名	

組 番 名前

- ◎ 次の狂歌は、政治改革についての思いを歌にしたものです。その政治改革の中心人物の名前を答えなさい。また、そのような狂歌が歌われた理由について、60字以内で書きなさい。

白河の 清きに魚の 住みかねて もとのにごりの 田沼恋しき

解答欄

人物名	
-----	--

教科が歌われた理由

30

60

歴史2 第1章 近世の日本 (3) 産業の発達と幕府政治の動き <応用問題⑫>

組 番 名前

◎ 19世紀前半, 百姓一揆や打ちこわしが増加した。その理由を次の語句をすべて使って, 100字以内で書きなさい。

百姓一揆 打ちこわし 貨幣経済 貧富の差

解答欄

30
60
90

<基本問題①>

【解答】(1) 伊能忠敬 (2) ① a ② c ③ b

<基本問題②>

【解答】(1) 江戸, 京都, 大阪 (2) 町人

【解説】○ 江戸時代の代表的な都市や文化の担い手を問う問題です。本単元の内容として確認しておきたい基本事項です。

【採点基準】

番 号	採 点 の 基 準
(1)	順不同

<基本問題③>

【解答】 ① b (古事記伝) ② a (解体新書)

【解説】 「古事記伝」は、本居宣長が「古事記」を研究して著した書物です。

「解体新書」は、杉田玄白や前野良沢らが、オランダ語の解剖書「ターヘル・アナトミア」を翻訳して出版した書物です。

蘭学は、8代将軍徳川吉宗が洋書の輸入禁止をゆるめたことから、洋書の研究が盛んになりました。はじめはオランダ語の本が中心であったのでこう呼ばれました。のちには、オランダ語だけでなく、ヨーロッパ諸国の学問もふくめて、洋学と呼ばれました。

【採点基準】

採 点 の 基 準
・書物名を含めて完答とする。

<基本問題④>

【解答】 ① オランダ ② 蘭学 ③ 国学
④ ききん(飢饉) ⑤ 百姓一揆 ⑥ 打ちこわし

【解説】 ⑤の百姓一揆は、幕府が農民への重い年貢をかけ、その負担と借金に苦しむことから発生したことが重要です。

⑥の打ちこわしは、都市部の貧しい人々が米を買い占めた商人に対して行ったことを理解することが重要です。

<応用問題①>

【解答】(1) 商品 (作物)

作物の名前：あぶらな (菜種)，綿花 (綿・木綿)，紅花，藍，うるし，はぜ，桑など
から1つ

(2) ① b ② e ③ c

【解説】 産業や交通に関する問題です。事象の名前を覚えればよいのではなく、それが具体的にどのようなものか、どのようなことをイメージしながら理解することが大切です。

<応用問題②>

【解答】(1) ① 銀座 ② 小判 ③ 米

(2) A① 将軍 ② おひざもと ③ 天下 ④ 台所

⑤ 城下 ⑥ 門前 ⑦ 宿場

B⑤ 佐倉 ⑥ 香取 ⑦ 松戸

【解説】 ○ 千葉県内の城下町は、他にも大多喜 (大多喜町)，久留里 (君津市)，関宿 (野田市) などが、門前町は、成田 (成田山新勝寺)，船橋 (船橋大神宮)，中山 (市川市：法華経寺)，芝山 (観音教寺)，茂原 (藻原寺)，一宮 (玉前神社)，小湊 (鴨川市：誕生寺) などが、宿場町は、船橋，我孫子，鎌ヶ谷，酒々井，横芝などがあります。

<応用問題③>

【解答】(1) ① b ② a ③ c

(2) 株仲間 商人が同業者ごとにつくった組織で、幕府や藩に税を納めるかわりに、営業の独占を許され、大きな利益を上げた

両替商 金銀の交換や金銀と銭の交換をしたり、貸し付けたりする金融業をする商人

【採点基準】

番号	採点の基準
(2)	同様の意味が書けていれば正解

<応用問題④>

- 【解答】(1) 朱子学
(2) 藩校
(3) 読み, 書き, そろばん

【解説】○ 教育の普及に関する問題です。江戸時代は、幕府、藩、市中と、様々な教育機関により、各層の教育が行われていました。その教育率は、同時代の世界の中でもトップクラスであったといわれています。

【採点基準】

番号	採点の基準
(3)	順不同

<応用問題⑤>

- 【解答】(1) ① f ② a ③ c ④ d ⑤ e ⑥ b ⑦ c
(2) ①
(3) 元禄 (文化)
(4) 上方

【解説】○ 文化に関する問題です。元禄文化と化政文化の2つを取り上げ、それぞれについて、人物や事物などを問うています。具体的な作品の内容まで知っておくとよいです。
・ 千葉県域に関係する人物や、産業など栄えた町がいくつもあります。自分の住んでいる近隣の地域など、ぜひ調べてみてほしいものです。

<応用問題⑥>

- 【解答】(1) ① c ② b ③ a ④ c ⑤ c ⑥ b ⑦ a ⑧ c
(2) ②
(3) 化政 (文化)
(4) 江戸

<応用問題⑦>

【解答】 それまでの文化は、室町時代以降、庶民にも文化の広がりは見られたが、あくまで中心は支配階級だった。しかし江戸時代の**文化の担い手**は町人が中心である。**支配階級**ではない**庶民**が文化の中心であることが特色である。(100字)

【解説】 ○ 江戸時代の産業や交通，教育や文化の特色について説明を求める問題です。ここでは、「江戸時代の文化の特色」についての問題を載せました。

- 江戸時代の文化は、庶民文化であることに大きな特色があります。それまでの時代の文化の中心的な担い手がどのような立場の人たちであったかを想起すると、江戸時代の文化が現代にかなり近いものであることがわかつてきます。

【採点基準】

採 点 の 基 準
(文字数) ・ 80字以上で、配点通りに与える。 ・ 60字～79字で、配点の8割程度与える。 ・ 60字未満は、配点の5割程度与える。 (内容) ・ すべてのキーワードが使われていないものは、不正解とする。

<応用問題⑧>

【解答】 以前、東北方面と江戸の間は、房総半島を回り込む航路で結ばれていたが、利根川の流れを変えたため、銚子から江戸につながる航路ができ、利根川河岸の町は、物資の積み換え港としても栄えた。江戸と直結することで、銚子や野田のしょう油づくりも発展した。(118字)

【解説】 ○ 幅広い視点から時代を捉え、論述することを求める問題です。

- ここでは、利根川の流れの変化が水運の開拓につながり、流通路の変化、そして町の発展に結びつくことを、きちんと関係付けて考えられるか、がポイントです。「利根水運」を「線路」や「バイパス道路」に置き換えると、現在の問題として説明できます。過去の歴史を学んで、現代社会やこれからの社会の考察に転用することができる例です。

【採点基準】

採 点 の 基 準
(文字数) ・ 90字～120字で、配点通りに与える。 ・ 70字～89字で、配点の8割程度与える。 ・ 70字未満は、配点の5割程度与える。

<応用問題⑨>

- 【解答】 (1) A (a) B (c) C (d) D (b)
(2) A 徳川吉宗 享保 (の改革)
B 松平定信 寛政 (の改革)
C 水野忠邦 天保 (の改革)
D 田沼意次

【解説】 各設問とも江戸の改革を取り上げています。関連した内容を根拠を持って結びつけるとともに、それぞれの改革の起こった年代を特徴的な事柄と結びつけて整理しておくことが必要です。

漢字で答えることが望ましいのですが、平仮名でも正答とします。

<応用問題⑩>

- 【解答】 (1) ア 天明の(大)飢饉 浅間山
イ からかさ連判状
ウ 大塩平八郎
理由：大塩が幕府の元大阪町奉行の役人で、場所が直轄地であった大阪で起こったこと。
(2) ア 間宮林蔵
イ 異国船打払令 (外国船打払令，無二念打払令も可)

【解説】 (1) イは、志を同じくする人々の知恵がさせたことに気付かせたいです。
ウは、幕府内部からの最初の反抗といってもよいものです。
幕藩体制の弱体化にもつながるものです。(字数制限はなし。)

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
(1) エ	理由 ・模範解答に近い形で理由が2つ書かれていれば正答とする。

<応用問題⑪>

【解答】 人物名 松平定信
理由 商業が活発で、わいろがさかんだった田沼意次の時代と異なり、寛政の改革がとてもしびしいため、人々が不満を持っている。 (57字)

【解説】 寛政の改革を行った老中松平定信の出身地が白河藩(福島県)であることから、その厳しい質素・儉約の改革についていけない人々が、田沼意次の時代に商業が盛んだった頃を懐かしみ、わいろが横行し百姓一揆や打ちこわしが発生したにもかかわらず、恋しがっている姿を思い浮かべることができたらよいと思います。

【採点基準】

番号	採点の基準
理由	(文字数) ・50字～60字で、配点通りに与える。 ・40字～49字で、配点の8割程度与える。 ・40字未満は、配点の5割程度与える。

<応用問題⑫>

【解答】 **貨幣経済**の発達によって、次第に**貧富の差**が広がり、農村では年貢の負担や借金に耐えかねた農民が領主に年貢の軽減などを要求する**百姓一揆**を起こした。都市でも貧しい人々が米の買い占めをした商人に対して**打ちこわし**を行った。(105字)

【解説】 次の3つの内容が書かれていることが重要です。
・貨幣経済の発達によって、貧富の差が拡大したこと。
・一揆は農民が中心で百姓一揆と呼ばれ、農民は年貢の負担や借金に悩んでいたこと。
・打ちこわしは、都市部での貧しい人々が米を買い占めた米商人に対して行ったこと。

【採点基準】

採点の基準
(文字数) ・80字以上で、配点通りに与える。 ・70字～79字で、配点の8割程度与える。 ・70字未満は、配点の5割程度与える。 (内容) ・すべてのキーワードが使われていないものは、不正解とする。